



クイック スタート ガイド



401332

Cisco 5500G シリーズ 10G スタックブル マネージドスイッチ

はじめに

この度は、シスコのネットワーク通信デバイスである **Cisco 550XG** シリーズ **10G** スタックابل マネージド スイッチをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このデバイスは、細かい設定なしに標準のレイヤ **2** および **3** スイッチとしてすぐにご使用いただけます。デフォルト構成では、電源投入後、接続しているデバイス間でパケットの転送が行われます。

このガイドでは、スイッチのレイアウトを紹介し、お客様のネットワークにこのスイッチを配備する方法について説明しています。詳細については、www.cisco.com/go/550switches [英語] を参照してください。

パッケージの内容物

- Cisco 550XG 10G スタックابل マネージド スイッチ
- 電源コード
- ラックマウント キットとゴム製の脚
- DB-9/RJ45 シリアル ケーブル
- クイック スタート ガイド (本書)
- ポインタ カードと中国 RoHS ステートメント
- テクニカル サポートの連絡先
- EU 指令 1999/5/EC 準拠情報 (EU SKU のみ)

1 要件

設置を開始する前に、次のものを用意する必要があります。

- ネットワーク デバイスを接続するための **RJ-45** イーサネット ケーブル (カテゴリ **6A** 以上)。
- スイッチの管理用としてコンソールポートを使用するためのコンソール ケーブル。
- ハードウェアを設置するためのツール。スイッチに同梱されているラックマウント キットには、卓上設置用のゴム製の脚が **4** 個、ブラケットが **2** 個、ラックへの取り付け用のネジが **12** 個含まれています。
- **Web** ベースのインターフェイスまたはスイッチ管理用のコンソールポートを使用するための、**Internet Explorer** (バージョン **8.0**、**9.0**、または **10.0** 以上) または **Firefox** (バージョン **16.0** または **17.0** 以上) がインストールされた **PC**。

スイッチを物理的に設置する方法は2つあります。

- スイッチを平面上に置きます。卓上にスイッチを置くには、スイッチの底面に（同梱されている）4つのゴム製の脚を取り付けます。
- スイッチを標準のラック（高さ1RUを占有します）に取り付けます。

設置のヒント

スイッチを次のような条件が当てはまる場所には設置しないでください。

- **周囲温度**：スイッチの過熱を防止するために、周囲温度が **50 °C (122 °F)** を超える場所では使用しないでください。
- **通気**：スイッチの周りに十分な通気を確保してください。
- **機器の重量**：スイッチが危険な状態にならないよう、スイッチを水平に安定させてください。
- **回路の過負荷**：電源コンセントにスイッチを追加接続することで、その回路に過負荷をかけることのないようにしてください。

ラック マウント

標準サイズの **19 インチ（約 48 cm 幅）** ラックにスイッチを取り付けることができます。スイッチの取り付けには、**1 RU（高さ 44.45 mm）** のスペースが必要です。



注意

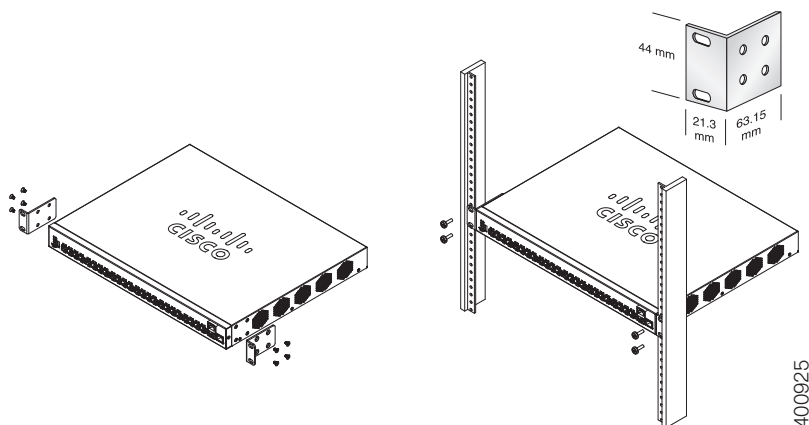
安定性を確保するために、最も重いデバイスから順に下から上へとラックに載せていきます。重いデバイスをラックの一番上に載せると、不安定になり、転倒する可能性があります。

標準の **19 インチ** シャーシにスイッチを取り付けるには、次の手順に従います。

ステップ 1 スイッチの片側に付属のブラケットを当て、ブラケットの **4 個** の穴をネジ穴に合わせてから、付属の **M4 ネジ** を **4 本** 使用してスイッチを固定します。

ステップ 2 この手順を繰り返してスイッチの反対側にもう **1 つ** のブラケットを取り付けます。

ステップ 3 次の図のように、ブラケットをしっかりと取り付けてから、スイッチを標準の 19 インチ ラックに取り付けます。



3

ネットワーク デバイスの接続

スイッチをネットワークに接続するには、次の手順に従います。

ステップ 1 イーサネット ケーブルをコンピュータ、プリンタ、ネットワーク ストレージ、または他のネットワーク デバイスのイーサネット ポートに接続します。

ステップ 2 イーサネット ケーブルのもう一端を、スイッチのイーサネット ポート番号の 1 つに接続します。接続されたデバイスがアクティブ状態の場合、ポートの LED が点灯します。

接続がアクティブ状態になると、イーサネット ポート ライトが緑色になります。各スイッチのその他のポートと LED の詳細については、「[Cisco 550XG スイッチの機能](#)」を参照してください。

ステップ 3 スイッチに接続する各デバイスで、**ステップ 1** と **ステップ 2** を繰り返します。

(注) カテゴリ 6A 以上のケーブルを使用してネットワーク デバイスを接続することを強くお勧めします。ネットワーク デバイスを接続するときは、最大ケーブル配線距離 100 m を超えないようにする必要があります。デバイスや LAN が接続されてから、動作可能になるまでに最大 1 分かかることがあります。これは通常の動作です。

要件

スイッチにアクセスして管理する方法は 2 つあります。Web ベースのインターフェイスを使用して IP ネットワークを介する方法と、コンソールポートでスイッチのコマンドラインインターフェイスを使用する方法です。コンソールポートを使用するには、高度なユーザスキルが必要です。

以下はスイッチを最初に構成するときに使用するデフォルト設定です。

パラメータ	デフォルト値
ユーザ名	cisco
パスワード	cisco
LAN IP	192.168.1.254

Web ベースのインターフェイスを使用したスイッチの構成

Web ベースのインターフェイスを使用してスイッチにアクセスするには、スイッチが使用する IP アドレスを知る必要があります。スイッチのデフォルト構成では、出荷時のデフォルト IP アドレス **192.168.1.254** が使用されます。

スイッチが出荷時のデフォルト IP アドレスを使用しているときは、システム LED が継続して点滅します。スイッチが DHCP サーバによって割り当てられた IP アドレスを使用しているとき、または管理者がスタティック IP アドレスを構成しているときは、システム LED が点灯します (DHCP はデフォルトで有効になります)。

(注) ネットワーク接続を通じてスイッチを管理しているときに、DHCP サーバを介して、または手動でスイッチの IP アドレスを変更すると、スイッチへのアクセスが失われます。スイッチが使用する新しい IP アドレスをブラウザに入力して、Web ベースのインターフェイスを使用する必要があります。コンソールポートを介してスイッチを管理している場合は、リンクが保持されます。

Web ベースのインターフェイスを使用してスイッチを構成するには、次の手順に従います。

ステップ 1 コンピュータとスイッチの電源を入れます。

ステップ 2 スイッチの前面パネルにある OOB ポートにコンピュータを接続します。

ステップ 3 コンピュータで IP 構成を設定します。

- a. スイッチがデフォルトの IP アドレス **192.168.1.254** を使用している場合、使用されていない **192.168.1.2 ~ 192.168.1.253** の範囲の IP アドレスを選択する必要があります。
- b. DHCP によって IP アドレスが割り当てられる場合、DHCP サーバが動作していて、スイッチとコンピュータから DHCP サーバにアクセスできることを確認します。デバイスが DHCP サーバから自身の新しい IP アドレスを検出するようにデバイスを切断してから再接続する必要がある場合があります。

(注) コンピュータで IP アドレスを変更する方法の詳細は、使用しているアーキテクチャとオペレーティング システムのタイプによって異なります。コンピュータのローカル ヘルプとサポート機能を使用して、「IP アドレスの設定」を検索してください。

ステップ 4 Web ブラウザ ウィンドウを開きます。デバイスに接続するときに **Active-X** プラグインのインストールを求められたら、プロンプトに従って **Active-X** プラグインを受け入れます。

ステップ 5 スイッチの IP アドレスをアドレス バーに入力し、**[Enter (入力)]** を押します。たとえば、「**http://192.168.1.254**」と入力します。

ステップ 6 ログイン ページが表示されたら、Web ベースのインターフェイスで使用する言語を選択し、ユーザ名とパスワードを入力します。デフォルトのユーザ名は **cisco** です。デフォルトのパスワードは **cisco** です。ユーザ名とパスワードについては、大文字と小文字が区別されます。

ステップ 7 **[Log In (ログイン)]** をクリックします。

デフォルトのユーザ名とパスワードを使用して最初にログインすると、**[Change Password (パスワードの変更)]** ページが開きます。新しいパスワードを作成するためのルールがページに表示されます。

ステップ 8 新しいパスワードを入力し、そのパスワードを確認します。

(注) パスワードの複雑性は、デフォルトで有効になっています。パスワードは、デフォルトの複雑性ルールに従う必要があります。また、**[Password Strength Enforcement (パスワード強度の適用)]** オプションの横にある **[Disable (無効化)]** をチェックして、パスワードを一時的に無効にすることができます。

ステップ 9 **[Apply (適用)]** をクリックします。



注意

Web ベースのインターフェイスを閉じる前に、[Save (保存)] アイコンをクリックして、変更した構成を確実に保存します。構成を保存する前にインターフェイスを閉じると、すべての変更が失われます。

[Getting Started (開始)] ページが開きます。これで、スイッチを構成する準備が整いました。詳細については、『Cisco 550XG シリーズ 10G スタックブル マネージド スイッチ アドミニストレーション ガイド』またはヘルプ ページを参照してください。

コンソール ポートを使用したスイッチの構成

コンソール ポートを使用してスイッチを構成するには、次の手順に従います。

ステップ 1 付属のコンソール ケーブルを使用して、コンピュータをスイッチ コンソール ポートに接続します。

ステップ 2 コンピュータで **HyperTerminal** などのコンソール ポートユーティリティを起動します。

ステップ 3 ユーティリティを次のパラメータで構成します。

- 115200 ビット/秒
- 8 データ ビット
- パリティなし
- 1 ストップ ビット
- フロー制御なし

ステップ 4 ユーザ名とパスワードを入力します。デフォルトのユーザ名は **cisco** です。デフォルトのパスワードは **cisco** です。ユーザ名とパスワードについては、大文字と小文字が区別されます。

デフォルトのユーザ名とパスワードを使用して最初にログインすると、次のメッセージが表示されます。

```
[Please change your password from the default
settings. (デフォルト設定のパスワードを変更してください。) Please change the password for better
protection of your network. (ネットワークの保護を強化するために、パスワードを変更してください。) Do you want
to change the password (Y/N) (パスワードを変更しますか (Y/N)) [Y] ?]
```

ステップ 5 [Y]を入力し、新しい管理者パスワードを設定します。

(注) パスワードの複雑性は、デフォルトで有効になっています。パスワードは、デフォルトの複雑性ルールに従う必要があります。



注意

終了する前に、変更した構成を確実に保存してください。

これで、スイッチを構成する準備が整いました。詳細については、『Cisco 550XG シリーズ 10G スタックابل マネージドスイッチ コマンド ライン インターフェイス リファレンス ガイド』を参照してください。

(注) ネットワークで DHCP を使用していない場合、スイッチの IP アドレス タイプを **スタティック** に設定し、ネットワーク トポロジに一致するようにスタティック IP アドレスとサブネット マスクを変更します。このように設定しないと、複数のスイッチが同じ出荷時のデフォルト IP アドレス **192.168.1.254** を使用することがあります。

Cisco 550XG スイッチのスタック構成

スイッチをスタックとして構成する前に、『Cisco 550XG シリーズ 10G スタックابل マネージドスイッチ アドミニストレーション ガイド』を参照して詳細を確認してください。「Cisco 550XG スイッチの機能」にある前面パネルの図は、スタック ポートの説明とサポートされるモジュールの理解に役立ちます。

スイッチのポートは、スタックを行うように構成していない限り、デフォルトで通常のイーサネット ポートとして機能します。スイッチまたはポート間で異なるスタック速度を構成することはできません。



警告

スタック ポートを同じポート速度で構成するか、モジュールまたはケーブル プラグインでスタック ポートが同じ速度機能を持っている必要があります。ポート速度が自動的に設定されている場合、2 つのポートに接続されたモジュールが同じ速度機能を持つ必要があります。そうでない場合、複数のユニットがあるスタックとしてスイッチを構成できません。

1 つのスタックには、最大 8 つの 550XG シリーズ スイッチを含めることができます。スイッチのどのポートもスタック用に使用できます。メッシュ トポロジなしにスタックできるのは Cisco 550 シリーズ スイッチだけです。

同じスタック内のスイッチは、スタック ポートを介して相互に接続されます。スタック ポートのタイプと必要な速度に応じて、標準のカテゴリ 6A 以上のイーサネット ケーブルおよび/または Cisco 550XG シリーズ スイッチ用のシスコ承認済みモジュールまたはケーブルが必要になります。

5

Cisco 550XG スイッチの機能

この項では、スイッチに関する理解を助けるために、使用できる製品モデルとスイッチの外観について説明します。

製品モデル

モデル	説明
SG550XG-8F8T	16 ポート 10G スタックابل マネージド スイッチ
SG550XG-24F	24 ポート 10G SFP+ スタックابل マネージド スイッチ
SG550XG-24T	24 ポート 10G Base-T スタックابل マネージド スイッチ
SG550XG-48T	48 ポート 10G Base-T スタックابل マネージド スイッチ

前面パネル

ポート、LED、リセット ボタンはスイッチの前面パネルにあります。

SG550XG-8F8T



SG550XG-24F



SG550XG-24T



SG550XG-48T



前面パネルのポート

USB : USB ポートを介してスイッチと USB デバイスを接続します。接続した USB デバイスを使って、構成ファイル、ファームウェア イメージ、SYSLOG ファイルを保存および復元できます。

RJ-45 イーサネット ポート : RJ-45 イーサネット ポートを介してコンピュータ、プリンタ、アクセス ポイントなどのネットワーク デバイスとスイッチを接続します。

400922

SFP+ (ある場合) : Small Form-Factor Pluggable Plus (SFP+) は、モジュールの接続ポイントであり、このポートを介してスイッチが他のスイッチとリンクされます。一般に、これらのポートはミニ 10 ギガビットインターフェイス コンバータ ポートとも呼ばれます。このガイドでは、用語 SFP+ を使用します。

- SFP+ ポートは、シスコ モジュール MGBSX1、MGBLH1、MGBT1、MGBLX1、MGBBX1 に加えて、他のブランドのモジュールと互換性があります。
- Cisco 550XG シリーズ スイッチでサポートされる SFP+ 10G オプティカル モジュールは、SFP-10G-SR、SFP-10G-LRM、および SFP-10G-LR です。
- Cisco 550XG シリーズ スイッチでサポートされる SFP+ 銅ケーブル モジュールは、SFP-H10GB-CU1M、SFP-H10GB-CU3M、および SFP-H10GB-CU5M です。
- SFP+ ポートはコンボ ポートであり、他の RJ-45 ポートと共有されます。SFP+ が有効になっているときは、隣の RJ-45 ポートが無効になります。
- 共有 RJ-45 ポート ライトの LED は、SFP+ ポートのトラフィックに反応して点灯します。

OOB : アウトオブバンド (OOB) ポート は CPU のイーサネット ポートであり、管理インターフェイスとしてのみ使用できます。OOB ポートとレイヤ 2 インバンド インターフェイス間のブリッジングはサポートされていません。

前面パネルの LED

RPS : (緑色) Cisco Redundant Power System 2300 (RPS2300) を介してスイッチにバックアップ電力を供給できる状態のときは点灯し、バックアップ電力の処理中は点滅します。他のスイッチが Cisco RPS2300 を使用しているときは、LED がオレンジ色に点滅します。

ファン : (緑色) 冷却ファンが動作可能な状態のときに点灯します。2 つのファン両方に障害が発生するとオレンジ色に点滅します。

マスター : (緑色) スイッチがスタック マスターになると点灯します。

システム : (緑色) スイッチの電源を入れると点灯し、ブート中、自己テストの実行中、IP アドレスの取得中に点滅します。スイッチがハードウェアの故障、ファームウェアの障害、および/または構成ファイルのエラーを検出すると、LED がオレンジ色に点滅します。

スタック ID : (緑色) スイッチがスタックされると点灯し、対応する番号がスタック ID を示します。スイッチのスタック ID が 4 より大きい値の場合、LED の点灯を組み合わせるとスタック ID を示します。たとえば、スタック ID #5 は LED#1 と LED#4 によって示され、スタック ID #8 は LED#1、LED#3、および LED#4 によって示されます。

リンク/有効：(緑色) 各ポートの左側にあります。対応するポートと他のデバイス間のリンクが検出されると点灯します。ポートがトラフィックを伝送しているときは点滅します。

XG：(緑色) 10G ポートの右側にあります。別のデバイスをポートに接続して電源を入れ、デバイス間で **10 Gbps** のリンクが確立されたときに点灯します。接続速度が **10 Gbps** 未満の場合、またはポートに何も接続されていない場合は、LED が消灯します。

ギガビット：(緑色) OOB ポートの右側にあります。別のデバイスをポートに接続して電源を入れ、デバイス間で **1000 Mbps** のリンクが確立されたときに点灯します。接続速度が **1000 Mbps** 未満の場合、またはポートに何も接続されていない場合は、LED が消灯します。

SFP+ (ある場合)：(緑色) 10G ポートの右側にあります。共有ポートを介して接続が確立されたときに点灯します。ポートがトラフィックを伝送しているときは点滅します。

リセットボタン

スイッチの前面パネルにあるリセット ボタンの穴にピンまたはペーパー クリップを差し込むと、スイッチがリセットされます。詳細については、「**Cisco 550XG スイッチの出荷時のデフォルト設定への復元**」を参照してください。

背面パネル

電源ポートとコンソール ポートはスイッチの背面パネルにあります。



電源：スイッチを AC 電源に接続します。

RPS2300：スイッチを Cisco RPS2300 モジュールに接続します。Cisco RPS2300 は、主電源の供給装置に障害が発生したときにバックアップ電源を提供することができます。

コンソール：シリアル ケーブルをコンピュータのシリアル ポートに接続し、ターミナル エミュレーション プログラムを使用してスイッチが構成できるようにします。

Cisco 550XG スイッチの出荷時のデフォルト設定への復元

リセット ボタンを使用してスイッチをリブートまたはリセットするには、次の操作を実行します。

- スイッチをリブートするには、リセット ボタンを押し続けます（10 秒未満）。
- スイッチを出荷時のデフォルト設定に戻す場合
 - ネットワークからスイッチを切断するか、ネットワーク上のすべての DHCP サーバを無効にします。
 - 電源が入っているときに、リセット ボタンを 10 秒以上押し続けます。

接続に関するトラブルシューティング

Web ベースのインターフェイスからスイッチにアクセスできない場合、コンピュータからスイッチに到達できなくなっている可能性があります。

Windows を実行しているコンピュータで ping を使用してネットワーク接続をテストできます。

ステップ 1 [スタート]>[ファイル名を指定して実行] を選択し、「cmd」と入力して、コマンドウィンドウを開きます。

ステップ 2 コマンドウィンドウ プロンプトで「ping」と入力し、スイッチの IP アドレスを入力します。たとえば、「ping 192.168.1.254」（スイッチのデフォルトのスタティック IP アドレス）のように指定します。

スイッチに接続可能な場合、次のような応答があります。

```
Pinging 192.168.1.254 with 32 bytes of data:  
Reply from 192.168.1.254:bytes=32 time<1ms TTL=128
```

スイッチに接続できない場合、次のような応答があります。

```
Pinging 192.168.1.254 with 32 bytes of data:  
Request timed out.
```

考えられる原因と解決策

電源が投入されていない：

スイッチとコンピュータがオフになっている場合は電源を投入してください。

イーサネットの接続不良：

LED の表示が正常であるかどうかを確認してください。イーサネットケーブルのコネクタがスイッチとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認します。

コンソール ポートの接続不良：

コンソール ケーブルのコネクタがスイッチとコンピュータにしっかりと接続されていることを確認してください。コンソール ポートのユーティリティが正しいパラメータで構成されていることを確認します。

不正な IP アドレス：

スイッチの正しい IP アドレスが使用されていることを確認してください。スイッチの現在の IP アドレスは、コンソール ポートを介して CLI で確認するか、ネットワーク管理者に確認することができます。システム LED には、スイッチが IP アドレスを受信した場所が示されます（詳細については、「[前面パネル](#)」を参照してください）。別のデバイスがスイッチと同じ IP アドレスを使用していないことを確認してください。

IP ルートがない：

スイッチとコンピュータが異なる IP サブネットに存在する場合、2 つのサブネット間でパケットをルーティングするために、複数のルータが必要になります。

アクセス時間が異常に長い：

スパニング ツリーの標準のループ検出ロジックにより、新しい接続を追加すると、その影響を受けるインターフェイスや LAN が動作可能な状態になるまで 30 ～ 60 秒かかる場合があります。

サポート	
シスコ サポート コミュニティ	www.cisco.com/go/smallbizsupport [英語]
シスコ サポート およびリソース	www.cisco.com/go/smallbizhelp [英語]
電話サポートの連絡先	www.cisco.com/en/US/support/tsd_cisco_small_business_support_center_contacts.html [英語]
シスコ ファームウェアのダウンロード	www.cisco.com/go/smallbizfirmware [英語] シスコ製品のファームウェアをダウンロードするには、リンクを選択します。ログインする必要はありません。
シスコ オープン ソースのリクエスト	www.cisco.com/go/smallbiz_opensource_request [英語]
シスコ パートナー セントラル (パートナー ログインが必要)	www.cisco.com/web/partners/sell/smb [英語]
製品ドキュメント	
Cisco 550XG スイッチ	www.cisco.com/go/550switches [英語]
法規制順守および安全性情報	www.cisco.com/en/US/docs/switches/lan/csb_switching_general/rcsi/Switch_RCSI.pdf [英語]
保証に関する情報	www.cisco-warrantyfinder.com [英語]



この装置は、クラス A 製品です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講じるように要求されることがあります。

米国本社

Cisco Systems, Inc.

www.cisco.com



シスコは世界中に **200** 以上の事業所を展開しています。
住所、電話番号、FAX 番号は、シスコの **Web** サイト
www.cisco.com/go/switch_rcsi [英語] に掲載されています。

78-100660-01

Cisco および Cisco ロゴは、米国、およびその他の国における Cisco Systems, Inc.、およびその関連会社の商標または登録商標です。シスコの商標については、www.cisco.com/go/trademarks [英語] のリストをご覧ください。掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

© 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.